

## 第8回キャンパスビジット 事後報告書

キャンパスビジット実行委員会 代表  
医学科3年 天野 翔健

令和元年10月5日(土)、私たちは第8回キャンパスビジットを開催しました。今回のキャンパスビジットも県内、県外を問わず60名弱の高校生、ならびに予備校生にご参加いただきました。

このキャンパスビジットは、本学医学科への進学を考えている方や、本医学科に興味を持っている高校生等を対象にしたものです。毎年夏に行われる大学によるオープンキャンパスとは一味違い、有志学生から成る実行委員会が主体となり、本学医学科の魅力や医学科生のキャンパスライフを紹介し、グループディスカッションや参加型の実習などを通して、参加者の受験勉強に対するモチベーションを上げてもらうことを目的としています。

今回のキャンパスビジットの主な内容としては、在校生・講師の先生からのお話、現役大学生を交えてのランチタイム、シミュレーション体験やグループに分かれてからの臨床推論、閉会後には学生による進路相談会や熱研・原研ミュージアムの見学などを行いました。以下に、これらについて詳細にレポートします。

まずは、在校生・講師の先生のお話です。在校生からのお話では、1年生のスタッフが、高校生活と大学生活の違いや、大学生活の魅力について図表を交えつつ説明がありました。講師からのお話では、長崎大学医学部のご出身で、現在は長崎大学病院地域医療支援センター副センター長としてご活躍されている高山隼人先生をお招きしました。フライトドクターとしての経験にも触れながら、医療現場において医師の担う役割から、地域医療が現在抱えている問題点まで、様々なことについてお話しくださいました。

次は、シミュレーション体験についてです。今回のキャンパスビジットでも、毎回好評を博しているシミュレーション体験をプログラムに盛り込みました。今回は、気管支内視鏡、超音波エコー、聴診器体験、心電図の四つのブースから三つを選ぶ形式で行いました。スタッフも参加者と一緒になって医療機器を取り扱う中、参加者が積極的にスタッフに質問を投げかけるなど、非常に活気のあるプログラムとなりました。

最後は、進路相談会、熱研・原研ミュージアム見学についてです。進路相談会では高校生が受験に関する相談をスタッフに話し、それに対してスタッフが答えるといった形で進められました。センター試験の問題の解き方に関する質問から、大学生活や大学での部活についてなど、幅広い分野の質問が寄せられました。また、熱研・原研ミュージアム見学は、本学の大きな特徴の一つである、熱帯医学研究所や原爆後障害医療研究所について知る貴重な機会になりました。

最後に、私事ではありますが、今回のキャンパスビジットをもって、代表を引退させていただくことになりました。振り返ってみれば、参加者の皆様をはじめ、スタッフの皆様、大学関係者の皆様、その他たくさんの方に支えられた2年間であったと思います。本当にありがとうございました。また、引き続きキャンパスビジットをよろしくお願い申し上げます。



高山先生の講演



在校生の講話



シミュレーション体験



臨床推論



キャンパスビジット記念撮影